

2025年度 コープみらい

奨学生

募集

返済
不要

ひとり親家庭の高校生を対象とした給付型奨学金

コープみらい奨学金は
組合員の助け合いの制度です。
コープみらい組合員の募金が原資です。

申込者の資格

奨学生対象者と同居している保護者で
前年の税込年収が400万円以下の方
★特別な事情のある場合はご相談ください

対象者

ひとり親(または両親がいない)家庭の高校生
(2025年4月に高校に入学される方と新2年3年生に
進級される方)で保護者がコープみらいの組合員


募集人数

670名(予定)新入学生・在校生の合計人数です

奨学金


月額1万円 返済不要 / 高校卒業まで 最大3年

締切日

2025年3月31日  必着

申し込み

- ・奨学金申請書ほか必要書類を締切日までに
下記宛先まで郵送にてご提出ください。
- ・新入学生と在校生で提出いただく書類は
異なりますのでご注意ください。
- ・申請書等は、当財団ホームページから
ダウンロードできます。
- ・ダウンロードできない場合は、当財団まで
資料請求してください。提出書類についての
詳しい案内は、チラシの裏面をご覧ください。
- ・ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

当財団ホームページの
奨学生募集ページは
こちらから 



お問合せ先

一般財団法人 コープみらい社会活動財団

〒336-8523 さいたま市南区根岸1-5-5 受付時間:10時~17時(土日祝休み)

コープみらい財団

CO-OP

「ともに」の力で、笑顔の明日を

電話:048-789-7998

Email:miraizaidan@coopdeli.coop

(番号間違いにご注意ください)

💡 応募に必要な書類について



3つのいずれかの方法で資料を請求してください

- 財団のホームページからダウンロードしてください。(下記★印)
- 財団のホームページより「資料請求フォーム」で資料一式を請求してください。後日、財団より郵送します。
- 保護者の住所・氏名・電話番号および新入生か在校生か記載したハガキで表面記載の財団住所宛に資料請求してください。後日、財団より郵送します。

※資料請求の受付は、3月20日までです。

| 必要書類 | 新入学生 | 在校生 (4月から高校2年生・3年生) |
|-----------------|---|--|
| ★奨学金申請書 | 新入学生用 | 在校生用 |
| ★個人調査書 | 新入学生用 卒業する中学校に作成を依頼してください。 中学校で封印されたものが応募書類となります。 | 在校生用 在学する高校に作成を依頼してください。 高校で封印されたものが応募書類となります。 |
| 2024年度の収入がわかるもの | 源泉徴収票など | 源泉徴収票など |
| その他 | 合格通知書のコピー | |

💡 選考について

- 収入(家計の状況)と学業成績で選考します。収入重視で総合的に選考します。
- 選考結果は応募者全員に5月中に個別にお知らせします。

よくあるご質問

Q 定時制高校、通信制高校も対象になりますか？

A 対象になります。高等学校(全日制課程・定時制課程・通信制課程)、中等教育学校後期課程(中高一貫校の高校にあたる部分)高等専門学校(5年制)、高等専修学校、特別支援学校高等部の新入生と在校生(新2年生・新3年生)が応募対象です。

Q 収入に基準はありますか？

A 前年度の年収(給与以外の収入も含む)が税込で400万円以下とします。
「経済的に困難をかかえているひとり親家庭」を応援するコープみらいの奨学金制度の趣旨を踏まえ、応募資格に上限を設けさせていただきました。
なお、特別な事情のある場合はご相談ください。(表面の財団宛メールまたは電話)

Q コープみらい奨学金の資金はどこから出ているのですか？

A 奨学金応援サポーター(奨学生を応援するコープみらい組合員)の募金が原資となっています。
募金は全額が奨学金として使われます。チラシ等の広報経費、募集・採用の事務経費は財団負担です。

奨学金応援サポーターについて詳しくはこちらから



高校を卒業した奨学生からの声 Voice



高校入学当初は学費でさえ懸命に働く母に対し申し訳なく、就職を考えていました。しかし、奨学金のおかげで資格試験に挑むことができ、国家資格の取得と大学進学が叶いました。

保護者からの声 Voice



ひとり親で子育て、経済面に不安しかありませんでしたが、奨学金に助けられ高校を無事に卒業させることができました。本当に感謝しかありません。

奨学金応援サポーターからの声 Voice



毎月わずかながら募金を続けています。自分の子どもたちと同様に、奨学生の皆さんが、夢に向かって進んでいくことを心から応援しています。

